

たいと思います。2つ目は、PF懇談会幹事からの提案で、専門的な解説に入る前にイントロダクションがあったほうがよいという意見を頂きましたので、松下先生による「放射光入門」の講義を設けました。放射光の入門編として、各国語による放射光の呼び方や放射光が社会に対して果たしている役割など幅広い話題についてお話いただき、好評でした。3つ目は、初日の最後に参加者と講師・スタッフとの談話会を設け、参加者と企画側が交流する時間を作りました。講義中には質問しにくい参加者も、軽食を食べながらの談話会では講師・スタッフに対して比較的気軽に質問でき、また参加者間の交流もできたようです。

講習会後のアンケートでは、講義の図や映像が豊富でわかりやすく、とても為になったという意見の反面、あまりに専門的すぎてわかりにくい部分があったなどの意見も見られました。また昨年度のテキストをそのまま流用したために、講義の流れと一致しない部分があったことについても不評でした。講義内容について、満足していただいた部分は残しつつ、参加者が不満を感じた部分については、率直に反省し、改善していきたいと考えています。

最後になりましたが、お忙しい中、熱心な講義をしていただいた講師のみなさま、すべての準備と受付をしていただいた秘書室の森史子さん、限られた予算の中で、談話会用の食べ物、飲み物のためにカンパをしてくださった主幹の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

PF 懇談会入会のご案内

PF (Photon Factory) 懇談会は放射光を利用する研究活動を効果的に推進するため、PFの発展、会員相互の交流、利用の円滑化を図る利用者団体です。主に次の様な活動を行っています。

- ・会員相互の情報交換、会員の放射光利用に関する要望のとりまとめ
- ・ユーザーグループ活動の促進
- ・PFシンポジウム、放射光基礎講習会などの学術的会合の開催
- ・PF将来計画の立案とその推進

PFでの皆様の研究活動を更に多いものにするためにもPF懇談会へのご入会をお勧めいたします。なお、ユーザーグループは懇談会の元に作られた組織ですので、ユーザーグループへの参加には懇談会の入会が必要です。

詳しくはPF懇談会ホームページをご覧ください。

<http://pfwww2.kek.jp/pf-kondankai/index.html>

(URLが新しくなりました。)

〈お問い合わせ〉

PF 懇談会事務局 森史子

029-864-5196 fumiko@post.kek.jp

掲示板

放射光セミナー

題目：高エネルギー分解能逆光電子分光装置の開発
講師：朝倉大輔氏 (物構研 放射光 博士研究員)
日時：2006年8月11日 (金) 14:20 ~ 15:20

題目：軟X線角度分解光電子分光によるNiのバルク・バンド構造
講師：鎌倉望氏 (物構研 放射光 博士研究員)
日時：2006年8月11日 (火) 16:00 ~ 17:00

題目：XAS study of lithium battery materials
講師：Professor Guy OUVARD (Associate Director, Institut des Matériaux Jean Rouxel Nantes, France)
日時：2006年9月8日 (金) 15:00 ~ 16:00

題目：MOSTABによる放射光X線ビームの安定化
講師：工藤統吾氏 (高輝度光科学研究センター (JASRI) ビームライン技術部門)
日時：2006年10月16日 (月) 16:00 ~ 17:00

物構研セミナー

題目：コバルト酸化物 $\text{Na}_x\text{CoO}_2 \cdot y\text{H}_2\text{O}$ での三角格子上の超伝導：実験と理論
講師：小形正男氏
(東大大学院理学系研究科助教授、物構研客員助教授)
日時：2006年9月13日 (水) 16:00 ~ 17:00

題目：放射光とMEMS, GAを用いた構造研究
講師：西堀英治氏 (名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻 助教授)
日時：2006年9月27日 (水) 14:00 ~ 15:00

最新の情報はホームページ

(<http://pfwww.kek.jp/pf-seminar/>) をご覧ください。

第13回物質構造科学研究所運営会議次第

日時：平成18年9月12日 (火) 13:30 ~ (管理棟大会議室)
議事：

1. 協議
 - ① 教員の人事について 放射光源研究系 教授1名
 - ② 教員の人事について 放射光源研究系 教授1名
 - ③ 教員の人事について 放射光源研究系 助手1名
 - ④ その他
 - ・ 研究員 (非常勤) の人事委員会委員選出について
2. 所長・施設長報告
 - ① 所長報告
 - ② 放射光報告
 - ③ J-PARC センター報告
 - ④ 中性子報告
 - ⑤ ミュオン報告
 - ⑥ ERL 計画報告
 - ⑦ 各 PAC 報告
 - ・ 放射光共同利用実験課題審査結果について
 - ・ 中性子共同利用実験課題審査結果について
 - ・ ミュオン共同利用実験課題審査結果について
 - ⑧ その他
3. 報告
 - ① 人事異動
 - ② 海外機関との協定・覚書締結状況について
 - ③ 平成19年度概算要求について

施設留保ビームタイム採択課題一覧 (2006 年度前期)

課題番号	申請者	所属	カテゴリー	課題名	ステーション
06 留 -01	石澤 伸夫	名古屋工業大学	B	Si311+ ミラーによる 20 keV 領域での単結晶精密結晶構造解析	14A
06 留 -02	山口 紀子	農業環境技術研究所	D	土壌有機物に配位した Al の局所構造	11A
06 留 -03	永野 正光	佐賀大学工学部	D	シリコン基板上にプラズマ CVD により調製した BCN 薄膜の電子構造解析	27A
06 留 -04	野村 昌治	PF	B, D, E	蛍光 XAFS 用触媒反応セル設計の為の基礎データ測定等	12C
06 留 -05	中井 泉	東京理科大学	A	XAFS と XRF イメージングによるファイトレメディエーション用植物におけるヒ素及び鉛の蓄積メカニズムの解明 (04G332)	12C
06 留 -06	河野 正規	東京大学大学院	B	自己集合性巨大金属錯体の結晶構造解析と光誘起不安定中間体のその場観察	NW2A
06 留 -07	澤 博	PF	D, E	Si 三重結合を有するジシリンの構造解析	1B
06 留 -08	澤 博	PF	B	分光器の Δθ 調製用ピエゾ素子の交換と光学系の調製	1B
05 留 -09	丹羽 尉博	PF	A	DXAFS による金属/液体界面近傍での金属化学種の動態解析	NW2A

【施設留保ビームタイム申請カテゴリー】

- A. 故障等に対するビームタイムの補填。やり残した実験の補充。
- B. ビームライン・実験装置の性能向上を速やかにする。
- C. U 型課題の受付をし、重要な研究の計画から成果公表までの時間を短縮する。
- D. 新規ユーザー開拓への活用（実習、試行実験等）。
- E. 受身の共同利用から能動的な共同利用へ。
- F. 施設としての柔軟性の確保。

内部スタッフ・大学院生優先ビームタイム採択課題一覧 (2006 年度前期)

課題番号	申請者	所属	課題名	希望ステーション	希望ビームタイム
2006PF-01	鈴木 証朗	総研大	Fe ₃ O ₄ , BaTiO ₃ ナノクラスターの FeL _{2,3} と OK の XAS 検出の試み	NE1B	170 時間
2006PF-02	橋本 英子	総研大	屈折原理に基づく X 線 CT の生体試料への応用	14B	4/18 ~ 4/24 5/13 ~ 5/19 6/6 ~ 6/12
2006PF-03	石地耕太郎	研究機関研究員	プルシアンブルー類似錯体 CsMnFe(CN) ₆ の X 線誘起相転移の観測	9A, 9C, 7C, 12C	3 日間
2006PF-04	五十嵐教之	PF	FEA 方式 X 線 HARP 検出器試作機の評価実験	5A	6/27 ~ 6/30 6/27 ~ 6/30 6/27 ~ 6/30
2006PF-05	中尾 朗子	PF	新規分子性導体における構造解析	14A	4 日間
2006PF-06	垣内 徹	総研大	1/4 filled 有機導体における電荷秩序相での電子密度分布解析	14A	6 日間
2006PF-07	橋本 英子	総研大	屈折原理に基づく X 線 CT の生体試料への応用 IV	14B	一週間
2006PF-08	松下 正	PF	エネルギー分散型 X 線反射率計の開発	NW2A	NW2 で 6 日間 8C, 15B 等で 4 日間 ~ 8 日間
2006PF-09	Mogens Lebech	学振特別研究員	Electron-photon coincidence measurement of helium and lithium	16B	1week(single) 3days (multi)
2006PF-11	寺本 高啓	特別共同利用研究員	Xe 原子の continuum dressing states の観測	28A	1week(single) 4days (multi)
2006PF-12	鈴木 証朗	総研大	CeO ₂ ナノクラスターの CeM _{4,5} と OK 内殻 XAS 測定、及び MgFe ₂ O ₄ ナノクラスターの FeL _{2,3} と OK 内殻 XAS と XMCD 測定	11A	一週間
2006PF-13	久保田正人	PF	遷移金属酸化物ナノシート材料の粉末回折実験	1B	3 日間
2006PF-14	久保田正人	PF	CoFe/MnIr 交換結合膜を用いた放射光測定	4C	3 日間